

## 塾人社 四択問題【理科2分野 天体 4】

設問 1	次の中で火星の見え方としておかしいのはどれ。	
選択肢	1	見かけの大きさは変化する
選択肢	2	真夜中に見えることがある
選択肢	3	満ち欠けすることはない
選択肢	4	満ち欠けする
正解		
解説		

設問 2	明けの明星の見え方はどれ。	
選択肢	1	日の出前、東の空
選択肢	2	日の出前、西の空
選択肢	3	日没後、東の空
選択肢	4	真夜中、南の空
正解		
解説		

設問 3	金星の大きさの変化について、正しいのはどれ。	
選択肢	1	金星と地球が近づくと大きく見える
選択肢	2	金星と地球が遠ざかると大きく見える
選択肢	3	いつも同じ大きさ
選択肢	4	金星が近づくと四角形になる
正解		
解説		

<b>設問 4</b>		金星と観測者と太陽がつくる角度は、何度以上にはならないか。
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	90度
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	23, 4度
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	66, 6度
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	48度
<b>正解</b>		
<b>解説</b>		

<b>設問 5</b>		火星の動きのなかでおかしいものはどれ。
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	逆戻りしたりする
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	止まってみえたりする
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	速くなったりする
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	常に一定の動き
<b>正解</b>		
<b>解説</b>		

## 塾人社 四択問題【理科2分野 天体 4】

<b>設問 1</b>	次の中で火星の見え方としておかしいのはどれ。	
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	見かけの大きさは変化する
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	真夜中に見えることがある
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	満ち欠けすることはない
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	満ち欠けする
<b>正解</b>		4
<b>解説</b>	満ち欠けして見えるのは、金星だね。金星の特徴と火星の特徴の区別を正確にね。1から3が、火星の特徴ですよ。	

<b>設問 2</b>	明けの明星の見え方はどれ。	
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	日の出前、東の空
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	日の出前、西の空
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	日没後、東の空
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	真夜中、南の空
<b>正解</b>		1
<b>解説</b>	金星は火星と違い、真夜中には見えないよ。あと、明けと言ってるんだから、東から出てくることは理解しようね。	

<b>設問 3</b>	金星の大きさの変化について、正しいのはどれ。	
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	金星と地球が近づくと大きく見える
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	金星と地球が遠ざかると大きく見える
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	いつも同じ大きさ
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	金星が近づくと四角形になる
<b>正解</b>		1
<b>解説</b>	金星と地球が近づいた時は大きく見え、遠ざかった時は小さく見えるんだよ。	

<b>設問 4</b>	金星と観測者と太陽がつくる角度は、何度以上にはならないか。	
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	90度
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	23, 4度
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	66, 6度
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	48度
<b>正解</b>		4
<b>解説</b>	金星は常に太陽の近くに見え、一番遠く離れた時でも、48度以上の広がりはないんだよ。距離による満ち欠けの向きも覚えておこうね。	

<b>設問 5</b>	火星の動きのなかでおかしいものはどれ。	
<b>選択肢</b>	<b>1</b>	逆戻りしたりする
<b>選択肢</b>	<b>2</b>	止まってみえたりする
<b>選択肢</b>	<b>3</b>	速くなったりする
<b>選択肢</b>	<b>4</b>	常に一定の動き
<b>正解</b>		4
<b>解説</b>	火星は複雑な動きをするということを覚えておこうね。	